



つばきはらばし 椿原橋

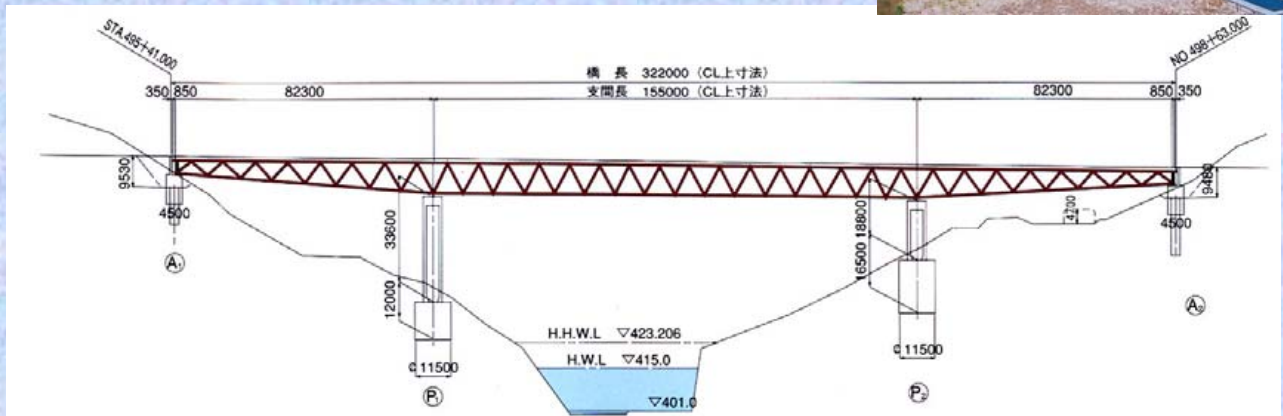
椿原橋は、東海北陸自動車道の白川ICから北上した岐阜県と富山県の県境に位置しており、椿原ダムの下流側で庄川を横断する複合トラス橋です。

トラス上弦材とPC床版を合成し、PC床版に主構としての機能を持たせた複合トラス橋です。床版の2方向にPC鋼材を配置することにより床版の剛性・耐力を高め、従来のトラス橋で一般的に採用されてきた上横構や床組構造を省略して構造の合理化をめざしています。

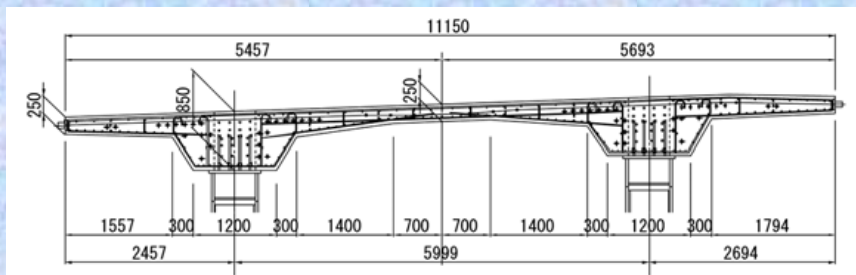


一般図

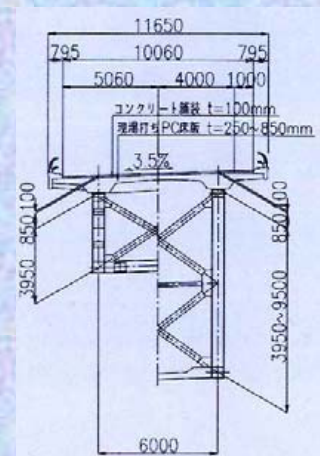
側面図



床版断面図



標準断面図



橋梁諸元

工事名：東海北陸自動車道椿原橋（鋼上部工）工事

発注者：日本道路公団中部支社

位置：岐阜県大野郡白川村大字有家ヶ原～椿原

道路規格：第1種第3級B規格

形式：3径間連続複合トラス橋

荷重：B活荷重

橋長：322.0m (82.3m + 155.0m + 82.3m)

総幅員：11.65m～16.59m (有効幅員 10.06m～15.0m)

架設工法：張出し架設工法

PC鋼材：主ケーブル SWPR19 1S28.6 (SM工法)

床版横締め鋼材 SWPR19 1S21.8 (SM工法)

